

資料編

「熟議 2017 in 兵庫大学」開催結果

1. 日 時 . . . 平成 29 年 11 月 19 日（日）10：00～15：00

2. 場 所 . . . 兵庫大学（加古川市平岡町新在家 2301）

3. 主 催 . . . 兵庫大学・兵庫大学短期大学部

4. 共 催 . . . 加古川市

5. 参加者数

・参加者	50 人（内 学生 7 人、高校生 32 人）
・傍聴者	33 人
・学生ファシリテーター	13 人
・司会者	1 人（参加者学生と重複）
・登壇者	2 人
・メインファシリテーター	1 人
合計	100 人

6. 熟議プロジェクトメンバー

田端和彦 高野敦子 森下 博 中本 淳 中井玲子 米野吉則 齋藤正寿
杉田律子 岩崎治夫 柏村裕美（敬称略）

7. 後援

兵庫県、兵庫県教育委員会、高砂市、稲美町、播磨町、
加古川市教育委員会、高砂市教育委員会、稲美町教育委員会、
播磨町教育委員会、（公財）兵庫県生きがい創造協会、
神戸新聞社、BAN-BAN ネットワークス株式会社

8. 協力企業（お菓子の提供）

株式会社春光堂、ニシカワ食品株式会社、前島食品株式会社

9. 実施風景写真



以上

熟議に参加される皆様へ

まずはこの書類（資料A）をお読みください。

「熟議 2017 in 兵庫大学」の進め方

1. 熟議はなぜ必要なのでしょう？

「熟議 2017 in 兵庫大学」にご参加いただき、ありがとうございます。

最初に「熟議」についてご説明します。熟議は、「熟慮」と「議論」を併せた言葉です。よく考えて議論をする、との意味で「熟慮の国会」などの使われ方もあります。しかしそれだけではありません。

日本では、選挙により国や地方の代表者を選ぶことにより、社会を動かし、政策を進めています。また市や県でも、選挙で選ばれた議員と市長・知事が議論を交わし、よりよい社会のための活動を行っています。この間接民主主義による政治は、効率性などの面で優れていると言われています。

しかし、自分たちが生活をする小さな地域（コミュニティ）のことについて決めたり、課題を解決したりするには、今の政治の仕組みだけでは難しいのが現実です。誰が、何を、どうすることが地域にとってよいことなのか、「熟議」によって示すことが必要とされるでしょう。「熟議」は選挙を通して参加する現在の政治の動きを助ける、新しい政治参加であり、主権者として地域に関わる手法でもあるのです。

2. 熟議は話し合いとは違うのですか？

話し合いと「熟議」とはどこが異なるのでしょうか。

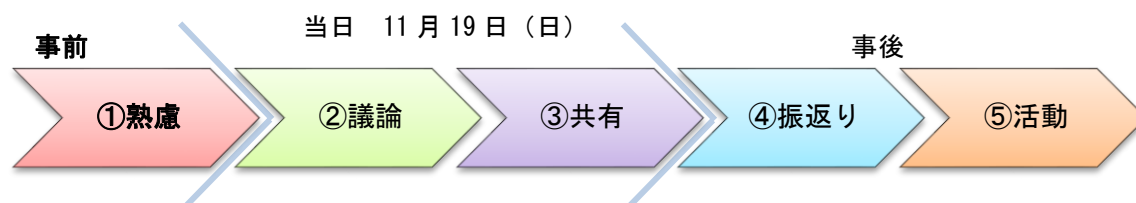
「熟議」は熟慮し議論するもので、熟慮の段階を議論の前に持つことで、その場限りの話し合いよりも、実のある議論が可能になり、課題の解決や方針を立てることに近づくことができると考えられます。



3. 「熟議 2017 in 兵庫大学」はどのように進められますか？

兵庫大学では、この熟議を①「熟慮の段階」、②「議論の段階」、③「共有の段階」、④「振返りの段階」、そして⑤「活動の段階」の5つに体系化しています。これが兵庫大学熟議手法です。

裏面に①「熟慮の段階」の進め方について示しますので、各自手順に沿っておすすめてください。



4. 「熟議 2017 in 兵庫大学」に関する情報はどこで見ることができますか？

熟議専用ホームページ [http:// www.hyogo-dai.ac.jp/jukugi/](http://www.hyogo-dai.ac.jp/jukugi/) を開設しています。

随時情報を更新していますので必ずご覧ください。後述の熟慮の成果もこちらのフォームからお送りください。



■高校生・大学生の皆さんは「熟慮」に入る前に別添「自己認識シート」に記入、提出してください。

「熟慮の段階」の進め方

1) 10月29日(日)熟慮講演会を必ず受講してください

講演①は専門家による講演を通して AI について理解します。本熟慮における AI の考え方について共通に理解します。

また各自で実施するフィールドワークについて、テーマを理解し課題発見のヒントを得ます。

時間 13:00～14:50

場所 兵庫大学 17-407 教室

講演① 「AI とその可能性」(70分)

講師：兵庫大学現代ビジネス学部教授 高野敦子

講演② 「フィールドワークの実施について～地域課題の発見～」(30分)

講師：兵庫大学生涯福祉学部准教授 齋藤正寿

2) フィールドワークを実施し、その内容を熟慮専用ホームページからお送りください。

1)の熟慮講演会での学びを基に各自フィールドワークを実施してください。10月29日の熟慮講演会で発表される5つのテーマのうち1つを選択し、AIの活用によって解決したい地域の課題を発見します。

11月8日(水)までに、下記4点を熟慮専用ホームページの「熟慮」の成果提出フォームへ入力・送信してください。

①課題の名称(20字以内)

②課題の概要(400字程度)

③課題を考えるきっかけになった場所や物を収めた写真(1～2枚)

④AIを活用するために必要と思われるデータの種類(データは不要です)

3) アンケートに回答し、資料を郵送してください。

資料B「『熟慮2017 in 兵庫大学』参加者・アンケート」にご回答ください。その後、返信用封筒11月15日(水)を目途にご返送ください。(高校生は担当の先生にお渡し下さい)

お疲れ様でした。これで「熟慮」の段階は終了です。11月19日(日)に兵庫大学でお会いしましょう！

※10月29日(日)及び11月19日(日)にはJR東加古川駅北側・兵庫大学間のバスを運行します。またお車でお越しの方は駐車場をご利用いただけます。時刻等詳細は別紙にてご確認ください。

自己認識シート(事前評価)

学校名		
科・コース	学年	年
氏名		

※下記に示された各能力に対し、今のあなたに当てはまると思われる「④レベルの欄」の1～5を○で囲んでください。

①能力	②能力の説明	③「できること」の具体例					④レベル		
		かなり自信がある	自信がある	ふつう	あまり自信がない	まったく自信がない			
自主性	物事に進んで取り組む力	5	4	3	2	1	自分の目標や課題を定め、進んで取り組むことができる □物事に対して、興味や関心をもって意欲的に取り組むことができる □困難なことでも前向きに取り組むことができる		
思考力	問題の要点を把握して、根拠をもとに論理的に考える力	5	4	3	2	1	□現状を正しく理解するための情報収集や分析ができる □物事の原因と結果を区分したり、問題の背景を考慮することができる □問題を解決するために見通しをもって、順序立てて考えることができる		
実行力	目標に向かって行動する力	5	4	3	2	1	□自分の考えをもち、それらを確実に実行することができる □設定した目標達成に向けて粘り強く取り組むことができる □困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる		
対応力	状況を判断して関係や流れがうまくいくように行動する力	5	4	3	2	1	□相手やその場の状況を配慮しながら、柔軟に対応することができる □自分の役割と他者の役割を的確に判断し、取り組むことができる □物事が良い方向に流れるよう、まわりに働きかけることができる		
交渉力	人との関わりを踏まえ、働きかけて相互理解へ導く力	5	4	3	2	1	□取り決めのための話し合いの場を持ち、合意をめざすことができる □協力することの意義や理由を、相手に対して明確に伝えることができる □周囲の人に対して効果的に働きかけられる手段を活用できる		
会話力	相手と意思疎通(そつう)を図る力	5	4	3	2	1	□自分の意見を具体的にわかりやすく伝えることができる □相手の意見を丁寧に聞き、素直に受け止めることができる □相づちや共感により、相手に話しやすい状況を作ることができる		
計画力	現状を把握し、解決に向けて筋道を立てる力	5	4	3	2	1	□実現のために段階ごとになすべきことを把握することができる □作業の過程を明らかにし、優先順位をつけて計画を立てることができる □必要に応じて他者の意見も積極的に計画に取り入れることができる		
規律性	社会のルールや人との約束を守る力	5	4	3	2	1	□社会のルールやマナーの必要性を理解し、それらを守ることができる □他者に社会のルールやマナー、また約束を守るように促すことができる □異なる立場を理解しながら社会のためのルールや約束を結ぶことができる		
運営力	違う立場の人々の集まるチームを適切に運営する力	5	4	3	2	1	□自分の意図を持ちつつも、他者の意見や立場も理解することができる □チームの目的を明確にして、メンバーに働きかけることができる □異なる立場の人々とも力を合わせて物事を達成することができる		
貢献性	社会の担い手として役割を自覚して、参画する力	5	4	3	2	1	□地域や社会に参画することの意義や役割について理解している □地域や社会に参画して、自分の役割を果たそうとする意志がある □地域や社会の担い手として、使命感をもった取り組みができる		

「熟議 2017 in 兵庫大学」参加者・アンケート

この調査は記名式のアンケート調査です。「熟議 2017 in 兵庫大学」の開催に先立ち、テーマである「AI×地域～AI で変える加古川地域の未来～」に関する考え方、熟議についての認識などを確認するために行います。ご回答は選択肢の番号を右欄に記入するか、指示に従い、直接、記入してください。

なお、当該調査票は兵庫大学にて厳重に保管し、統計的に処理をした結果のみを公表する予定です。調査票にご記入頂くお名前等は、主に熟議後のアンケートとの照合を図るためであり、熟議の実施以外の用途に用いることはございません。ご理解の上、ご回答をお願いいたします。

当該アンケートの回答期限は平成 29 年 11 月 15 日（水）です。返信用封筒にてご回答ください。よろしくお願いたします。

1. 下記の欄に、あなたのお名前を下記にご記入ください。

お名前	
-----	--

2. 学校生活や社会経験の中で、ワークショップや市民会議、グループ討議など「参加者が議論し、対策や方針を作成する」というご経験はありましたか。1つ選び、右欄に番号を記入してください。

- ① 現在も多くの機会を経験をすることがある（年間5回以上が目安）
- ② 機会は少ないが、現在でも経験をすることがある
- ③ 以前には経験をしたことがあるが最近はない
- ④ これまでほとんど経験をしたことがない

3. 「参加者が議論し、対策や方針を作成する」という方法について、ご経験を踏まえ良い点と悪い点を次の一覧より1つずつ選び、それぞれ右欄に番号を記入してください。なお、良い点、悪い点がない場合、それぞれの欄は空白のままにしてください。

〈良い点〉

- ① 多様な考えを知る機会がある
- ② 少数意見も平等に扱われる
- ③ 決定した後の行動が容易である
- ④ 参加者の満足度が高い
- ⑤ わからない
- ⑥ その他 ()

〈悪い点〉

- ① 時間や労力がかかりすぎて非効率
- ② 議論だけではまとまらず決められない
- ③ 立場が上の人の意見に影響されやすい
- ④ 感情的な対立が残ってしまう
- ⑤ わからない
- ⑥ その他 ()

4. 「熟議 2017 in 兵庫大学」への参加の以前から、熟議という言葉をご存知でしたか。

- ① 熟議の内容を含めよく知っていた
- ② 言葉では聞いたことがあった
- ③ 今回初めて知った

5. 「熟議 2017 in 兵庫大学」に参加しようと思われたのはなぜですか。次より 2 つ以内で選
び右欄に番号を記入してください。

- ① 市民の議論により政策の方向を決する熟議という方法に関心があるから
- ② 「AI×地域～AI で変える加古川地域の未来～」というテーマに関心があるから
- ③ 大学が主催する事業に参加したいから
- ④ 地域での活動全般に関心があるから
- ⑤ 学校の先生や、属する団体の関係者から参加を勧められたから
- ⑥ 特に強い理由はないが、なんとなく参加をしようと思ったから
- ⑦ その他 ()

6. 「熟議 2017 in 兵庫大学」の資料やホームページをご覧になり、また講座を受けられて、
今回の熟議の進め方についてご理解をいただけたでしょうか。1 つ選び右欄に番号を記入
してください。

- ① 十分に理解することができた
- ② 大体は理解することができた
- ③ あまり理解することができなかった
- ④ ほとんど理解することができなかった

--

7. 「熟議 2017 in 兵庫大学」での「議論の段階」において、あなたはどのことに最も大きな
期待を持っておられますか。下記から 1 つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 自分の意見を述べる機会があることへの期待が大きい
- ② 他の人の意見を聞くことへの期待が大きい
- ③ どのように議論が進むのか、進め方を知る期待が大きい
- ④ 結論や提案がどのようなものになるのか、結果の期待が大きい
- ⑤ 多くの人と交流したり話をする事への期待が大きい
- ⑥ その他 ()

--

テーマの「AI×地域～AI で変える加古川地域の未来～」について伺います。

8. テーマは加古川地域やその住民にとって重要な課題になると思いますか。次の中からあな
たの考えに近いものを一つ、選んでください。

- ① 大変重要な課題である
- ② 重要な課題ではあるが、他に優先すべき課題が多い
- ③ 地域の課題の一つであるが、重要とは言えない
- ④ AI が地域で活用される可能性は低く、地域での課題となるものではない
- ⑤ その他 ()

--

9. 事前の講演を受講され、またご自身でフィールドワークをされ、テーマについて十分に熟
慮され、理解が深まりましたか。

- ① 十分に理解することができた
- ② 大体は理解することができた
- ③ あまり理解することができなかった
- ④ ほとんど理解することができなかった

--

10. 今後 20 年以内で、AI による下記の内容の実現にどの程度期待をしていますか。それぞれについてあなたの期待の強さを 5 段階で表し、当てはまる番号に○を付してください。

	期待が 高い ←————→ 期待は 低い
① 会話や遊び相手などコミュニケーション	5 4 3 2 1
② 日常の家事（調理、掃除など）の代行	5 4 3 2 1
③ 作業の効率化や人手不足の解消	5 4 3 2 1
④ 医師、弁護士など専門家に対する支援	5 4 3 2 1
⑤ 発明や発見、開発を自立して実施	5 4 3 2 1
⑥ 医療などの専門的業務を自立して実施	5 4 3 2 1
⑦ 自治体政策や企業方針を自己決定	5 4 3 2 1
⑧ 文学、絵画など芸術作品を独自に完成	5 4 3 2 1

11. 今後 20 年の間に、AI の危険性はどの程度であると考えていますか。それぞれについてあなたの考えを 5 段階で表し、当てはまる番号に○を付してください。

	危険性が 高い ←————→ 危険性は 低い
① 人の仕事が奪われる	5 4 3 2 1
② テロや犯罪に利用される	5 4 3 2 1
③ システムのエラーで混乱や被害が生じる	5 4 3 2 1
④ 法律や制度で想定外の事態が生じる	5 4 3 2 1
⑤ 知らぬ間に人が AI に依存をしすぎる	5 4 3 2 1
⑥ 開発者の能力を超えて制御不能に陥る	5 4 3 2 1
⑦ AI の活用により格差が拡大する	5 4 3 2 1
⑧ AI の活用や AI による判断が人の倫理観や価値観に反する	5 4 3 2 1

12. AI を利用して地域課題を解決していくにあたり、下記のような考え方についてあなたは、賛成ですか、それとも反対ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

		大いに賛成	やや賛成	どちらでもない	やや反対	大いに反対
1	便利な AI が普及すると人との交流が減少する。	5	4	3	2	1
2	AI のメリットは一部に及ぶだけで地域全体には行き渡らない。	5	4	3	2	1
3	若者にとって AI の発展はリスクよりもチャンスの方が大きい。	5	4	3	2	1
4	AI の活用で生じた時間や金銭の余裕を次世代の育成のために使用する。	5	4	3	2	1
5	AI が基盤となる産業の成長により旧来の産業がなくなるのはいたしかたない。	5	4	3	2	1
6	AI による便利さと自然保護が両立しない場合は自然保護を優先する。	5	4	3	2	1
7	高齢者の自立のために AI を積極的に活用する。	5	4	3	2	1
8	AI の活用で医療や介護の経済的な負担は減少する。	5	4	3	2	1
9	人の健康については、AI は治療より予防に適している。	5	4	3	2	1
10	語学などを学んだ AI は観光客に対し人より優れた「おもてなしの心」を持つ。	5	4	3	2	1
11	人々の気づかない地域の魅力を AI は発見する。	5	4	3	2	1
12	AI は課題の解決のため最も適した答えを提供する。	5	4	3	2	1
13	AI の適切な活用のために政府や自治体の役割が大きい。	5	4	3	2	1
14	可能であれば AI の開発や普及に貢献したい。	5	4	3	2	1
15	大学は地域を変える AI の活用に関して役割を果たす。	5	4	3	2	1

13. あなたのご所属先について1つ選び、右欄に番号を記入してください。

- ① 高等学校（高校生） ② 大学（大学生） ③ 民間企業
 ④ 自治体・政府（公務員） ⑤ NPO・各種団体 ⑥ その他（ ）
 ⑦ 無職

ご協力、ありがとうございました。

熟議 2017 in 兵庫大学 ワークシートフォーム

①テーマ

②課題

③具体的にどのようなコトが問題なのか

④どうなってほしい

⑤AI に出来るコト（判断・選択・予測）

⑥AI に入力するデータ

「熟議 2017 in 兵庫大学」参加者・アンケート

長時間の熟議での議論、お疲れ様でした。

この調査は記名式のアンケート調査です。「熟議 2017 in 兵庫大学」の後、テーマである「AI×地域～AIで変える加古川地域の未来～」に関する考え方、熟議に対する印象がどのように変化をしたのかを確認し、政府、自治体への提言等に活用するとともに、今後の熟議事業に活用することをめざしております。閉会後にご記入頂き、グループファシリテーターにお渡し下さい。

なお、当該調査票は兵庫大学にて厳重に保管し、統計的に処理をした結果のみを公表する予定です。調査票にご記入頂くお名前等は、主に熟議前のアンケートとの照合を図るためであり、熟議の実施以外の用途に用いることはございません。ご理解の上、ご回答をお願いいたします。

1. 下記の欄に、あなたのお名前を下記にご記入ください。

お名前	
-----	--

ここからは「熟議 2017 in 兵庫大学」に対しての皆様のご意見等について伺います。

2. 参加されて満足でしたか。1つ選び、右欄に番号を記入してください。

- ① とても満足
- ② まあ満足
- ③ どちらともいえない
- ④ やや不満足
- ⑤ とても不満足

3. 「熟議 2017 in 兵庫大学」の経験を、今後の活動で活かしたいと思われますか。1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 積極的に活かしたい
- ② 機会があれば是非活かしたい
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり活かしたいとは思わない
- ⑤ どう活かせばよいのかわからない

4. 「熟議 2017 in 兵庫大学」の議論の段階で、あなたにとってはどのような成果がありましたか。最も近いものを下記から1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 自分の意見を述べることができた
- ② 他の人の意見を聞くことができた
- ③ どのように議論を進めるのか、理解することができた
- ④ 結論や提案を知ることができた
- ⑤ 多くの人と交流することや話をする事ができた
- ⑥ その他 ()

5. 「熟議 2017 in 兵庫大学」は、これまでご経験のあった話し合いやワークショップなどと比べてどのように思われましたか。それぞれの設問について、1つに○を付けてください。

		非常に思う	思う	ない どちらでもない	あまり思わない	全く思わない
1	熟慮の段階があるため、自分の意見を整理することができ、発言をし易かった	5	4	3	2	1
2	熟慮の段階があるため、他の人の意見も理解しやすく議論がスムーズだった	5	4	3	2	1
3	これまで経験してきた話し合いなどよりも、共通の基盤に立っての議論ができた	5	4	3	2	1
4	熟議を通して、テーマ（AI×地域～AIで変える加古川地域の未来～）について、興味や関心がより高まった	5	4	3	2	1
5	議論の内容が充実し、テーマに関する自分自身の知識などを深める機会になった	5	4	3	2	1
6	課題の解決に向けて、自ら実行することがより重要であるとの考えを持った	5	4	3	2	1
7	最初に自分が持っていた意見について変化をもたらすことになった	5	4	3	2	1

6. 「熟議 2017 in 兵庫大学」のように市民の行う熟議は、現在の行政でどのように役立つとお考えになりますか。それぞれの設問について、1つに○を付けてください。

		非常に思う	思う	ない どちらでもない	あまり思わない	全く思わない
1	市民による熟議は、行政のさまざまな政策にも取り入れるべきである	5	4	3	2	1
2	熟議は、国が行うような大きな政策についてよりも、身近な課題について行う方が効果は大きい	5	4	3	2	1
3	熟議の後に調査を行うことで、政策について人々の意向（民意）を知ることができる	5	4	3	2	1
4	互いの利益がぶつかるような場面でも、熟議によって対立を避けることができる	5	4	3	2	1
5	熟議は少数派の意見が多数派にも影響を与え、多数決でものごとを決めるよりも民主的である	5	4	3	2	1

テーマの「AI×地域～AI で変える加古川地域の未来～」について伺います。

7. 今後 20 年以内で、AI による下記の内容の実現にどの程度期待をしていますか。それぞれについてあなたの期待の強さを 5 段階で表し、当てはまる番号に○を付してください。

	期待が 高い ←	→			期待は 低い
①会話や遊び相手などコミュニケーション	5	4	3	2	1
②日常の家事（調理、掃除など）の代行	5	4	3	2	1
③作業の効率化や人手不足の解消	5	4	3	2	1
④医師、弁護士など専門家に対する支援	5	4	3	2	1
⑤発明や発見、開発を自立して実施	5	4	3	2	1
⑥医療などの専門的業務を自立して実施	5	4	3	2	1
⑦自治体政策や企業方針を自己決定	5	4	3	2	1
⑧文学、絵画など芸術作品を独自に完成	5	4	3	2	1

8. 今後 20 年の間に、AI の危険性はどの程度であると考えていますか。それぞれについてあなたの考えを 5 段階で表し、当てはまる番号に○を付してください。

	危険性が 高い ←	→			危険性は 低い
①人の仕事が奪われる	5	4	3	2	1
②テロや犯罪に利用される	5	4	3	2	1
③システムのエラーで混乱や被害が生じる	5	4	3	2	1
④法律や制度で想定外の事態が生じる	5	4	3	2	1
⑤知らぬ間に人が AI に依存をしすぎる	5	4	3	2	1
⑥開発者の能力を超えて制御不能に陥る	5	4	3	2	1
⑦AI の活用により格差が拡大する	5	4	3	2	1
⑧AI の活用や AI による判断が人の倫理観 や価値観に反する	5	4	3	2	1

9. AI を利用して地域課題を解決していくにあたり、下記のような考え方についてあなたは、賛成ですか、それとも反対ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

		大いに賛成	やや賛成	どちらでもない	やや反対	大いに反対
1	便利な AI が普及すると人との交流が減少する。	5	4	3	2	1
2	AI のメリットは一部に及ぶだけで地域全体には行き渡らない。	5	4	3	2	1
3	若者にとって AI の発展はリスクよりもチャンスの方が大きい。	5	4	3	2	1
4	AI の活用で生じた時間や金銭の余裕を次世代の育成のために使用する。	5	4	3	2	1
5	AI が基盤となる産業の成長により旧来の産業がなくなるのはいたしかたない。	5	4	3	2	1
6	AI による便利さと自然保護が両立しない場合は自然保護を優先する。	5	4	3	2	1
7	高齢者の自立のために AI を積極的に活用する。	5	4	3	2	1
8	AI の活用で医療や介護の経済的な負担は減少する。	5	4	3	2	1
9	人の健康については、AI は治療より予防に適している。	5	4	3	2	1
10	語学などを学んだ AI は観光客に対し人より優れた「おもてなしの心」を持つ。	5	4	3	2	1
11	人々の気づかない地域の魅力を AI は発見する。	5	4	3	2	1
12	AI は課題の解決のため最も適した答えを提供する。	5	4	3	2	1
13	AI の適切な活用のために政府や自治体の役割が大きい。	5	4	3	2	1
14	可能であれば AI の開発や普及に貢献したい。	5	4	3	2	1
15	大学は地域を変える AI の活用に関して役割を果たす。	5	4	3	2	1

熟慮の際の講演会についてどのように思われましたか。議論に役立ったかなど、ご感想をお書きください。

今回の熟議についてお気づきの点、ご意見等ご自由にお書きください。

自己認識シート(事後評価)

学校名		
科・コース	学年	年
氏名		

※下記に示された各能力に対し、今のあなたに当てはまると思われる「④レベル」の1～5を○で囲んでください。

①能力	②能力の説明	③「できること」の具体例					④レベル				
		かなり自信がある	自信がある	ふつう	あまり自信がない	まったく自信がない					
自主性	物事に進んで取り組む力	5	4	3	2	1	自分の目標や課題を定め、進んで取り組むことができる 物事に対して、興味や関心をもって意欲的に取り組むことができる 困難なことでも前向きに取り組むことができる				
思考力	問題の要点を把握して、根拠をもとに論理的に考える力	5	4	3	2	1	現状を正しく理解するための情報収集や分析ができる 物事の原因と結果を区分したり、問題の背景を考慮することができる 問題を解決するために見通しをもって、順序立てて考えることができる				
実行力	目標に向かって行動する力	5	4	3	2	1	自分の考えをもち、それらを確実に実行することができる 設定した目標達成に向けて粘り強く取り組むことができる 困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる				
対応力	状況を判断して関係や流れがうまくいくように行動する力	5	4	3	2	1	相手やその場の状況を配慮しながら、柔軟に対応することができる 自分の役割と他者の役割を的確に判断し、取り組むことができる 物事が良い方向に流れるよう、まわりに働きかけることができる				
交渉力	人との関わりを踏まえ、働きかけて相互理解へ導く力	5	4	3	2	1	取り決めのための話し合いの場を持ち、合意をめぐることができる 協力することの意義や理由を、相手に対して明確に伝えることができる 周囲の人に対して効果的に働きかける手段を活用できる				
会話力	相手と意思疎通(そつう)を図る力	5	4	3	2	1	自分の意見を具体的にわかりやすく伝えることができる 相手の意見を丁寧に聞き、素直に受け止めることができる 相づちや共感により、相手に話しやすい状況を作ることができる				
計画力	現状を把握し、解決に向けて筋道を立てる力	5	4	3	2	1	実現のために段階ごとになすべきことを把握することができる 作業の過程を明らかにし、優先順位をつけて計画を立てることができる 必要に応じて他者の意見も積極的に計画に取り入れることができる				
規律性	会社のルールや人との約束を守る力	5	4	3	2	1	会社のルールやマナーの必要性を理解し、それらを守ることができる 他者に会社のルールやマナー、また約束を守るように促すことができる 異なる立場を理解しながら社会のためのルールや約束を結ぶことができる				
運営力	違う立場の人々の集まるチームを適切に運営する力	5	4	3	2	1	自分の意見を持ちつつも、他者の意見や立場も理解することができる チームの目的を明確にして、メンバーに働きかけることができる 異なる立場の人々とも力を合わせて物事を達成することができる				
貢献性	社会の担い手として役割を自覚して、参画する力	5	4	3	2	1	地域や社会に参画することの意義や役割について理解している 地域や社会に参画して、自分の役割を果たそうとする意志がある 地域や社会の担い手として、使命感をもった取り組みができる				

大賞 ありがとうございますプロフェッショナル
特別賞 38.6℃
観しみ賞 タバタン
びんころ地蔵

今年あらかず流行語は...
 今年話題になった言葉を選び「2037新語・流行語大賞」の年間大賞に「ありがとうございますプロフェッショナルへ。」が決まった。
 ・記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
 ニシカワパン
 株式会社 春光堂

2037年(平成49年) **11月19日** 木曜日
未来加古川地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月～金9:00～17:00 土9:00～16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしていけるか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感知する信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO2削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してはどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、その土地・気候に適している栽培管理方法を予測・判断するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大学と地域は、若い世代の農業への雇用拡大に活用したいとしている。チームは気候、降水量、土壌、湿度、気温の他、篤農家の栽培技術・知識などのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わった研究チームは、「AIを用いて栽培管理方法のデジタル化や企業へ展開させ、農業を若い世代が参入しやすい戦略的産業にしたい」と話す。

AIであらゆる土地の最適な栽培作目、栽培管理方法を判断



大賞 ありがとうございますプロフェッショナル
特別賞 38.6℃
観しみ賞 タバタン
びんころ地蔵

今年あらかず流行語は...
 今年話題になった言葉を選び「2037新語・流行語大賞」の年間大賞に「ありがとうございますプロフェッショナルへ。」が決まった。
 ・記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
 ニシカワパン
 株式会社 春光堂

2037年(平成49年) **11月19日** 木曜日
未来加古川地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月～金9:00～17:00 土9:00～16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしていけるか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感知する信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO2削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してはどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、交通状況や人・動物が安全かどうかを予測・判断するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大学と地域は、安全安心な地域づくりに活用したいとしている。チームは、過去の交通状況の他、人間の心理や行動パターンなどのデータをAIに学習させた。このシステムを開発に携わったチームは、「誰もが住みやすい町づくりと安全・安心な町づくりを目指す」と話す。

AIで信号と街灯を連動させて状況に応じた適切な働きを予測・判断する。



大賞
ありがとうございますプロフェッショナル
特別賞
38.6℃
観しみ賞
タバタン
びんころ地蔵

今年あらかず流行語は...
今年話題になった言葉を選ぶ
「2037新語・流行語大賞」の年間
大賞に「ありがとうございますプロフェッ
ショナルへ。」が決まった。
-記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
ニシカワパン
株式会社 春光堂

夕刊
2037年(平成49年)
11月19日
木曜日
未来加古川
地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月~金9:00~17:00 土9:00~16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしていけるか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感じ取る信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO2削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してはどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、空き家を活用可能かどうかを判断するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大学と地域は、空き家を減少させることに活用したいとしている。チームは空き家とその周辺地図の他、地域別・年齢別人口推移などのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わった研究メンバーは、「集落を計画的にまよめ空き家を減少させたい」と話す。



AIで将来の空き家を予測

大賞
ありがとうございますプロフェッショナル
特別賞
38.6℃
観しみ賞
タバタン
びんころ地蔵

今年あらかず流行語は...
今年話題になった言葉を選ぶ
「2037新語・流行語大賞」の年間
大賞に「ありがとうございますプロフェッ
ショナルへ。」が決まった。
-記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
ニシカワパン
株式会社 春光堂

夕刊
2037年(平成49年)
11月19日
木曜日
未来加古川
地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月~金9:00~17:00 土9:00~16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしていけるか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感じ取る信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO2削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してはどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、店が望ましい配置かどうかを判断するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大学と地域は、全国のシャッター街の利用者増加に活用したいとしている。チームはスリーパーの監視カメラの情報、他のPCなどのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わった研究メンバーは、「今回の研究が全国のシャッター街の利用者の増加につながれば」と話す。



AIで商店街の適切な配置を判断

大賞 ありがとうのプロフェッショナル
特別賞 38.6°C
敢しみ賞 タバタン
びんころ地蔵

今年あらかわす流行語は...
 今年話題になった言葉を選ぶ「2037新語・流行語大賞」の年間大賞に「ありがとうのプロフェッショナルへ。」が決まった。
 ・記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
 ニシカワパン
 株式会社 春光堂

2037年(平成49年) **11月19日** 木曜日
未来加古川地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月~金9:00~17:00 土9:00~16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしていくか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感じ取る信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してはどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、多様な年齢層からどのように話題から会話が生まれるかどうかを予測するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大と地域は、地域の人々の交流の手助けに活用したいとしている。チームは世代別のニーズの他、多種多様な言語・方言などのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わったE班は、「このAIを地域の人々との会話のきっかけとして使ってほしい」と話す。

AIで話し相手のニーズを予測



大賞 ありがとうのプロフェッショナル
特別賞 38.6°C
敢しみ賞 タバタン
びんころ地蔵

今年あらかわす流行語は...
 今年話題になった言葉を選ぶ「2037新語・流行語大賞」の年間大賞に「ありがとうのプロフェッショナルへ。」が決まった。
 ・記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
 ニシカワパン
 株式会社 春光堂

2037年(平成49年) **11月19日** 木曜日
未来加古川地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月~金9:00~17:00 土9:00~16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしていくか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感じ取る信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してはどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、最適なルートかどうかを選択するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大と地域は、交通渋滞の緩和、事故の減少に活用したいとしている。チームは地図の他、時間別の道路利用経路などのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わった牧野チームは、「クリーン、健康、安全な住みやすい地域づくりを目指したい」と話す。

AIで生活道路の交通状況の最適化を選択



大賞 ありがとうのプロフェッショナル
特別賞 38.6°C
最優秀賞 タバタン
びんころ地蔵

今年あらかわす流行語は...
 今年話題になった言葉を選ぶ「2037新語・流行語大賞」の年間大賞に「ありがとうのプロフェッショナルへ。」が決まった。
 ・記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
 ニシカワパン
 株式会社 春光堂

2037年(平成49年) **11月19日** 木曜日
未来加古川地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月~金9:00~17:00 土9:00~16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしてけるか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感知する信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO2削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してまどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、通るものが人かどうかとその人に適した街頭の点灯開始時間を予測・判断・選択するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大学と地域は、犯罪防止に活用したいとしている。チームは様々な人の画像、動画、音声の他、性別、身長、年齢別の歩く速度歩幅などのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わった参加者メンバーは、「明るい道から人通りを増やし、犯罪を減らし、明るい街づくりを目指したい」と話す。

AIで夜道の人やその人の歩く速度を予測・判断・選択



大賞 ありがとうのプロフェッショナル
特別賞 38.6°C
最優秀賞 タバタン
びんころ地蔵

今年あらかわす流行語は...
 今年話題になった言葉を選ぶ「2037新語・流行語大賞」の年間大賞に「ありがとうのプロフェッショナルへ。」が決まった。
 ・記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
 ニシカワパン
 株式会社 春光堂

2037年(平成49年) **11月19日** 木曜日
未来加古川地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月~金9:00~17:00 土9:00~16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしてけるか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感知する信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO2削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してまどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、外国人を含む全ての人が求めていることかどうかを判断・選択するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大学と地域は、加古川地域の良さをアピールすることに活用したいとしている。チームは加古川地域の歴史や神社仏閣の他、外国語を話せる機能などのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わったメンバーは、「AIを使って加古川地域の良さを知ってもらい、外国の方も加古川地域に住んでもらえたら」と話す。

AIで加古川地域の良いところを判断・選択



大賞 ありがとうございますのプロフェッショナル
 特別賞 38.6℃
 観望賞 タバタン
 びんころ地蔵

今年あらかず流行語は...
 今年話題になった言葉を選ぶ「2037新語・流行語大賞」の年間大賞に「ありがとうございますのプロフェッショナルへ。」が決まった。
 ・記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
 ニシカワパン
 株式会社 春光堂

夕刊 2037年(平成49年) 11月19日 木曜日
未来加古川地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月～金9:00～17:00 土9:00～16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしていけるか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感じ取る信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO2削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してはどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、地域の人かどうかを判断するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大学と地域は、治安維持に活用したいとしている。チームは住民の顔写真の他、警視庁の逮捕歴などのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わった仮面ライダーは、「怪しい人を見つけたらすぐに俺を呼べ！」と話す。

AIで地域の危険を予測



大賞 ありがとうございますのプロフェッショナル
 特別賞 38.6℃
 観望賞 タバタン
 びんころ地蔵

今年あらかず流行語は...
 今年話題になった言葉を選ぶ「2037新語・流行語大賞」の年間大賞に「ありがとうございますのプロフェッショナルへ。」が決まった。
 ・記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
 ニシカワパン
 株式会社 春光堂

夕刊 2037年(平成49年) 11月19日 木曜日
未来加古川地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月～金9:00～17:00 土9:00～16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしていけるか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感じ取る信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO2削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してはどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られていない
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、高齢者が健康かどうかを予測・判断・選択するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大学と地域は、一人暮らしの高齢者に活用したいとしている。チームは健康状態把握データの他、通報先などのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わったグループは、「地域のおじいちゃんおばあちゃんにいつまでも健康で長生きして欲しい」と話す。

AIで高齢者の健康状態と対処法を予測・判断・選択



大賞
ありがとうございますプロフェッショナル

特別賞
38.6℃

観しみ賞
タバタン

びんころ地蔵

今年あらかわす流行語は...
今年話題になった言葉を選ぶ
「2037新語・流行語大賞」の年間
大賞に「ありがとうございますプロフェッ
ショナルへ。」が決まった。
-記事7面

兵庫大学

前島食品株式会社
ニシカワパン
株式会社 春光堂

夕刊 2037年(平成49年) 11月19日 木曜日
未来加古川地域新聞

発行所 学芸堂新聞社 〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301 <http://www.hyogo-dai.ac.jp/> お申し込み 079-427-9551(月～金9:00～17:00 土9:00～16:30)

熟議2017各グループのテーマ、課題を発表

テーマ	課題
A 農業の在り方とAIの関わり	若者の農業への抵抗をいかに減らしているか
B 持続的な「地域」づくりを目指す	人や物を感じ取る信号と街灯
C 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域の空き家に対する有効な対策
D 持続的な「地域」づくりを目指す	高砂銀座商店街活性化
E 持続的な「地域」づくりを目指す	地域住民の人々の繋がりの薄さ
F 持続的な「地域」づくりを目指す	CO2削減
G 持続的な「地域」づくりを目指す	加古川地域にAIで人にだけ反応する街灯を導入してはどうか
H グローバルに拡大する「交流」	世界に加古川地域が知られてほしい
J 持続的な「地域」づくりを目指す	自宅付近の空き家の増加
K 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	高齢者の健康維持
L 誰もが健康で社会とつながる「ウェルネス」づくりを目指す	孤独をいかに減らすか

人工知能を使い、心身が健康かどうかを判断するシステムを開発したと、兵庫大と地域の有志メンバーが発表した。同大学と地域は、高齢者の孤独防止に活用したいとしている。チームは健康データの他、ドラマ、映画などのコンテンツなどのデータをAIに学習させた。このシステムの開発に携わった研究チームは、「人と人をつなぐ活力あるまちづくりにつなげたい」と話す。



AIで高齢者の健康でイキイキ状態を判断